

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2002-529833 (P2002-529833A)
 【公表日】平成 14 年 9 月 10 日 (2002.9.10)
 【出願番号】特願 2000-580187 (P2000-580187)
 【国際特許分類】

G 0 8 C 17/00 (2006.01)

B 6 5 D 79/02 (2006.01)

G 0 1 D 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 8 C 17/00 Z

B 6 5 D 79/02

G 0 1 D 21/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 24 日 (2005.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】化学的構成物 (17) を収納する容器 (10、10 a、10 b、10 c) であって、前記容器は、内部空間を完全に包囲し、内部と外部とを有する不可入性の材料 (18、18 a、18 b、18 c) と、前記容器 (10、10 a、10 b、10 c) の内部に配置され、識別情報を保持するとともに前記内部空間の物理的又は化学的パラメータを測定できる識別タグ/センサ (12、26、36) と、前記識別タグ/センサに関連付けられた少なくとも 1 つのアンテナ (14、14 a、16、16 a、22、22 a、24) と、を有していて、前記アンテナが少なくとも 2 つのワイヤのループ (14、14 a、16、16 a) を有し、第 1 の前記ワイヤ (16、16 a) が、前記容器 (10) の前記不可入性の材料 (18) 及び前記識別タグ/センサ (12) の近傍で前記内部に配置され、第 2 の前記ワイヤ (14、14 a) が、前記容器 (10) の周囲で前記外部に配置されている、容器。

【請求項 2】前記第 1 のワイヤ (16、16 a) が、前記識別タグ/センサ (12) の受信アンテナとして使用され、前記第 2 のワイヤ (14、14 a) が、前記識別タグ/センサ (12) の送信アンテナとして使用され、前記識別タグ/センサ (12) が、前記送信アンテナと関連付けられた通信手段によって作動させられる、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 3】前記センサ (26) が、前記容器 (10 a) の前記不可入性の材料 (18 a) の近傍に配置されたワイヤ (22) のループ近傍でワイヤ (22) のループに結合されており、前記ワイヤ (22) の前記ループが、前記容器 (10 a) の外部のアンテナ (24) と誘導的に関連付けられている、請求項 1 に記載の容器。